

公益財団法人南信州・飯田産業センター

課題解決 事例

メッキ処理後の材料の強度評価

相談内容

多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社

航空機装備品に用いられる材料のメッキ処理による水素脆性の影響を確認する必要があり、一定荷重を長時間負荷(クリープ試験)行いたいとの要望があった。

支援内容

機器利用

高温クリープ試験機(H26補正で購入)を用いて、評価した。

支援結果

30kNを200時間以上負荷したが、破断もせず、材料の強度維持がされていることが確認された。



ここがポイント!



クリープ試験を行うことでメッキ処理による材料の水素脆性の影響を確認することができます。

【担当】 所属 (公財)南信州・飯田産業センター 木下 久 (連絡先:0265-52-1630)